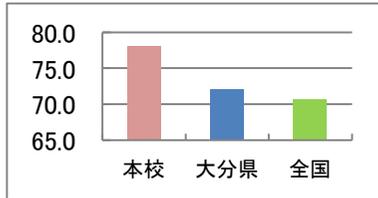


大分市立碩田学園 6年生 国語  
平成30年度 全国学力・学習状況調査

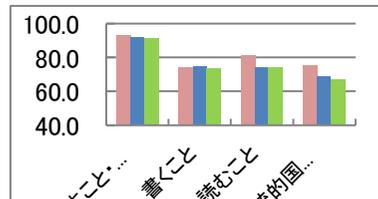
【国語A:主として「知識」に関する問題】

正答率	本校	大分県	全国
国語A	78	72	70.7



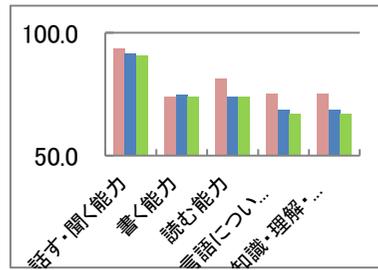
【領域別正答率】

領域別正答率	本校	大分県	全国
話すこと・聞くこと	93.3	91.4	90.8
書くこと	73.9	74.8	73.8
読むこと	81.1	74.0	74.0
伝統的国語*	75.2	68.3	67.0



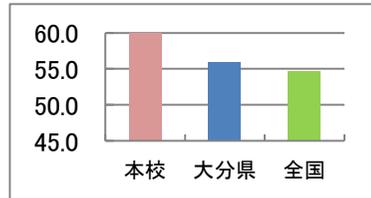
【観点別正答率】

観点別正答率	本校	大分県	全国
話す・聞く能力	93.3	91.4	90.8
書く能力	73.9	74.8	73.8
読む能力	81.1	74.0	74.0
言語についての知識・理解・技能	75.2	68.3	67.0
知識・理解・技能	75.2	68.3	67.0



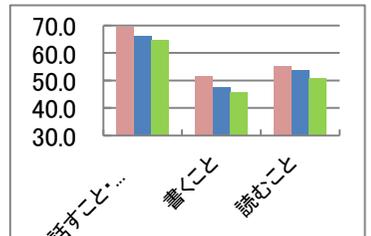
【国語B:主として「活用」に関する問題】

正答率	本校	大分県	全国
国語A	60	56	54.7



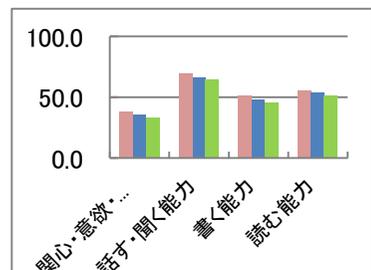
【領域別正答率】

領域別正答率	本校	大分県	全国
話すこと・聞くこと	69.2	65.9	64.6
書くこと	51.3	47.6	45.6
読むこと	55.0	53.6	50.8



【観点別正答率】

観点別正答率	本校	大分県	全国
関心・意欲・態度	38.1	35.8	33.2
話す・聞く能力	69.2	65.9	64.6
書く能力	51.3	47.6	45.6
読む能力	55.0	53.6	50.8



【分析結果】

- ・A問題（知識）、B問題（活用）ともに、全国平均正答率を全て上回っている。
- ・A問題（知識）、B問題（活用）ともに、領域別・観点別にみると、A問題（知識）の「書くこと・書く能力」が県平均正答率を若干下回った。
- ・「話すこと・聞くこと」において、「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる」問題は正答率が若干低く、課題が見られた。

【改善方法】

《言語についての知識・理解・技能》

○言語事項に関する基礎的な知識については、全ての設問で全国・県ともに上回っており、おおむね定着していると考えられる。漢字については、読み書きの反復練習に取り組むとともに、文章の中でも使えるような漢字練習の仕方や漢字テストのやり方を工夫しさらなる定着を図る。さらに、ことわざや四字熟語等の言語分野の問題を家庭学習や朝学習で取り組ませる。また、意味調べ等で辞書を活用することで、語彙数を増やし、日記や作文の中で効果的に使うことができるよう指導していく。

《書く指導》

○課題が見られたのは「書くこと」の領域で、物語を書くときの構成の工夫の説明として適切なものを選択するという問題に対し、全国平均正答率はわずかに上回ったものの県の平均正答率に及ばなかった。字数や段落、内容等の条件をもとに文章を構成し、ペアやグループでそれを見合ったり助言し合ったりするなどの活動を取り入れるなど、大事なことをおとさず簡潔で分かりやすい文章を書く力を高める指導に力を入れていく。

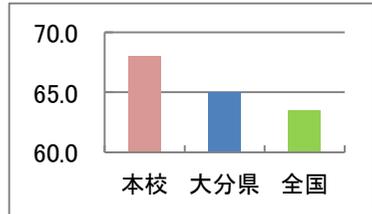
《設問の読み取り→問題文に盛り込まれた「条件」を読み落とさない》

○今回、国語科において「設問の読み取りから設問の条件に合った解答を導き出す」に課題が見られた。このことから問題を解く時の習慣として、「設問の条件」を的確にとらえさせる指導が必要だと考える。「何を問われているのか」「どんなことが答えに入れば良いのか」「答える時にどんな言葉を使うと良いのか」といったことを意識して問題を解くよう指導していく。

大分市立碩田学園 6年生 算数  
平成30年度 全国学力・学習状況調査

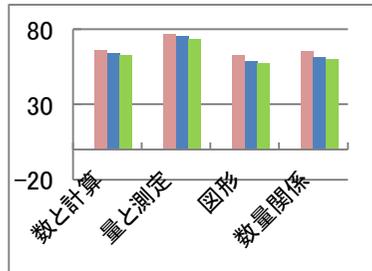
【算数A:主として「知識」に関する問

正答率	本校	大分県	全国
算数A	68.0	65.0	63.5



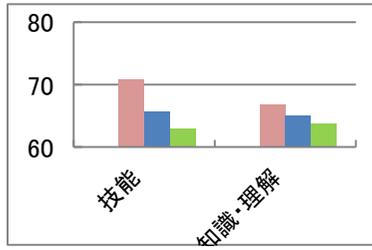
【領域別正答率】

領域別正答率	本校	大分県	全国
数と計算	65.7	63.6	62.3
量と測定	76.5	74.8	72.7
図形	62.5	58.4	56.9
数量関係	64.9	61.2	60.1



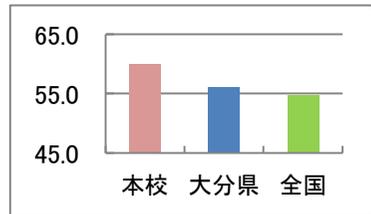
【観点別正答率】

観点別正答率	本校	大分県	全国
技能	70.9	65.7	63.0
知識・理解	66.8	65.1	63.8



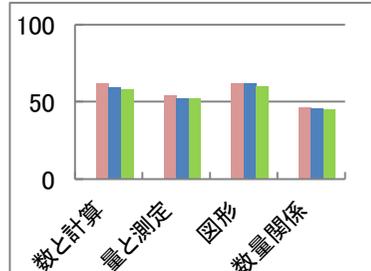
【算数B:主として「活用」に関する問題】

正答率	本校	大分県	全国
算数B	60.0	56.0	54.7



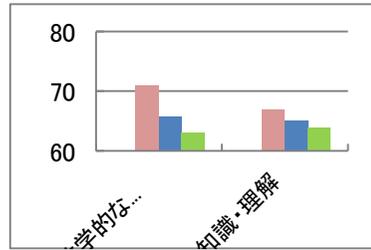
【領域別正答率】

領域別正答率	本校	大分県	全国
数と計算	61.8	59.2	58.4
量と測定	54.2	52.3	52.4
図形	61.8	61.7	59.9
数量関係	46.1	45.6	45.1



【観点別正答率】

観点別正答率	本校	大分県	全国
数学的な考え方	70.9	65.7	63.0
知識・理解	66.8	65.1	63.8



【分析結果】

- ・A問題（知識）、B問題（活用）ともに、全国平均正答率を上回っている。
- ・A問題（知識）、B問題（活用）ともに、領域別・観点別に見ても、全てにおいて全国平均正答率を上回っている。
- ・問題ごとにみると、除数が小数の式や計算を用いる問題、円周率を求める問題や、直径の長さや円周の長さに関係ある問題で正答率が低い。

【改善方法】

○基礎的な事項が身につけている児童が多いが、「グラフの活用」「小数の除法」「円」「単位量あたりの大きさ」の問題では課題が見られるので、繰り返し学習できるように計画を立て取り組んでいく。

○グラフから読み取ったり、情報とグラフを関連付けて考える問題に課題が見られるので、計画的に単元の発展問題や朝学習で取り組み、グラフを活用する問題を解く機会を増やす。また、理科や社会などの他教科でも資料としてのグラフをしっかりと読み取り活用できるよう、他教科とも関連づけながら指導に取り組んでいく。

○図形の問題では、県や全国平均正答率は上回っているものの、他と比べて正答率が低い傾向にある。「直径」や「円周率」等の算数用語の意味を正しく理解し、用語を使って説明したりまとめたりする活動を充実する。

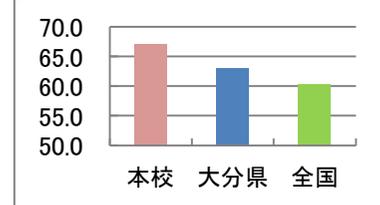
○選択式・短答式・記述式等による正誤の傾向は顕著ではないが、記述式は無回答率が高くなるので、授業の中で自分の考えや解答の仕方をノートに書かせて発表する場面を適宜取り入れるようにしていく。

○特に問題の中にある条件を読み取り、既習事項を活用して解く問題の正答率が低いので、同様の問題を宿題や課題の中に取り入れていく。

大分市立碩田学園 6年生 理科  
平成30年度 全国学力・学習状況調査

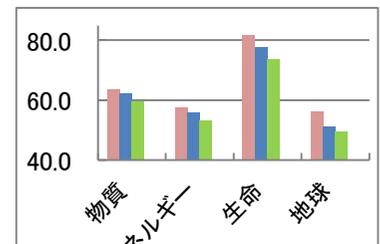
【全体の正答率】

正答率	本校	大分県	全国
理科	67.0	63.0	60.3



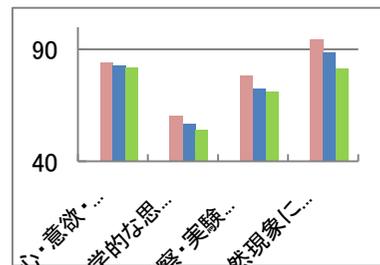
【領域別正答率】

領域別正答率	本校	大分県	全国
物質	63.7	62.4	59.8
エネルギー	57.6	55.8	53.1
生命	81.7	77.6	73.6
地球	56.2	51.2	49.5



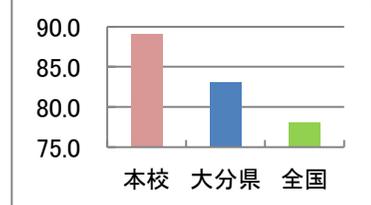
【観点別正答率】

観点別正答率	本校	大分県	全国
関心・意欲・態度	84.0	82.9	82.1
科学的な思考・表現	60.1	56.6	54.1
観察・実験の技能	78.2	72.3	71.1
自然現象についての知識・理解	94.5	88.7	81.5



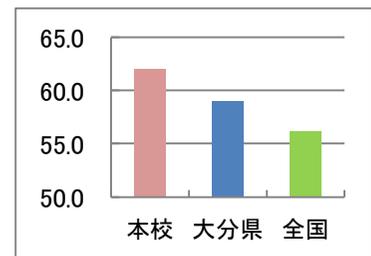
【知識に関する問題】

知識に関する問題	本校	大分県	全国
理科	89.0	83.0	78.0



【活用に関する問題】

活用に関する問題	本校	大分県	全国
理科	62.0	59.0	56.2



【分析結果】

- ・ A問題（知識）、B問題（活用）ともに、全国平均正答率を上回っている。
- ・ A問題（知識）、B問題（活用）ともに、領域別・観点別にみても、全てにおいて全国平均正答率を上回っている。
- ・ 科学的な思考・表現に関する問題の正答率が、他の観点の正答率と比べて低くなっている。
- ・ 16問の設問のうち8問以上正解している児童が84パーセント、12問以上正解している児童が49パーセントと全国・県ともに上回っており、力をつけている児童が多い。

【改善方法】

○記述の問題では、全国・県と同様に正答率が低い傾向にある。授業の中で、「課題」をしっかり位置づけ、課題に対応した「まとめ」と「振り返り」を行うなど、常に課題とまとめを意識して記述させる。

○科学的な言葉や概念を理解するためには、日頃の生活との関連性を意識して、言葉の理解を的確にとらえることが大切である。日常生活に見られる現象などを適宜取り上げ、話をしたり説明したりする機会を意図的・計画的に取り入れていく。

○既習した学習内容の確実な定着を図るため、授業内容と密接に関連づけた課題を設定し、宿題や朝学習などを通して復習できるように工夫する。